

① 栄養・食生活

第2次計画期間における主な取組

保育所や学校等では、子供の成長・発育に必要な栄養を考えた給食の提供とともに、朝食の摂取等、家庭での望ましい食生活につながる啓発に取り組みました。また、離乳食講習会や乳幼児健診では子供の発達に応じた食事の進め方について、助言・指導を実施しました。高齢者の低栄養予防では、介護予防教室として食の講話や食事バランスチェック等を実施し、家庭での食事作りに役立つはつらつ元気レシピ集の作成及び普及を行いました。健康相談や健康教室では食生活改善に向けた指導の実施、更には、市内事業者と連携し、スーパー等で減塩や野菜の摂取、低栄養予防についての啓発を行いました。

実績値及び評価

	策定時 実績 平成26年度 (2014年度)	目標値	中間評価 平成29年度 (2017年度)		最終評価 令和元年度 (2019年度)		最新評価 令和2年度 (2020年度)		
			実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	
① 朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	7.5%	減少	7.8%	d	7.7%	d	7.8%	d	
② 朝食を毎日食べる子供の割合	小学6年生	96.5%	100%	95.3%	d	95.7%	d	—	—
	中学3年生	92.6%	100%	92.7%	b	92.3%	d	—	—
③ 食塩を多くとる傾向がある人の割合	男性	21.3%	18.4%以下	20.2%	b	19.4%	b	19.5%	b
	女性	5.5%	3.9%以下	5.0%	b	4.6%	b	4.8%	b
④ 食生活において栄養バランスを重視する人の割合	57.4%	68.6%以上	—	—	61.4%	b	—	—	
分野別の総合評価			C	C	C	C	C	C	

成果及び課題

朝食の摂取状況は、子供、成人ともに目標値に達しておらず、特に子供の朝食の摂取については親への啓発を合わせて行い、家庭で規則正しい食生活が実践できるようにすることが必要です。

「食塩を多くとる傾向がある人の割合」「食生活において栄養バランスを重視する人の割合」は目標値に達していませんが、改善傾向にあります。引き続き、減塩や野菜の摂取量を増やすなど栄養バランスのとれた食事が実践できるような啓発や事業展開が必要です。